

「住んでよかった」といえる町から 「住んでみたい」といって貰える町に

有元 洋剛 議員



【問】町活性化につながる小中学校の特色づくりの現状は。

【教育長】伝統芸能の継承、田んぼ作り、100メートルマラソンなど学校区の特徴や学校の本旨に基づき実施している。

【問】「学校区生徒指導推進協議会」の活動として東郷中学では「心のこもった」標語募集を保護者も参加して実施している。他校区ではどうか。

【教育長】全区で実施するよう拡げて行きたい。

【問】優秀作品を町が発行するパンフレット・回覧板などの片隅に1行書き添えて欲しい。

【問】3月議会にて町長が「東郷の子供は漢字に強い」といわれるように指導したいと答弁あり。具体的な行動計画は。

【教育長】教育一般方針に反映させ、町として早い時期に行動計画を作成。

【問】町長室の和紙絵ほか町所蔵の美術工芸品を町民に見えるような展示を

求める。いこまい館のインドネシア・ガルーダの木像等もっと大事に展示すべきだ。町所蔵の美術工芸品はどのように管理されているか。規則があるか。

【教育部長】来歴などを示すリストはある。管理規則はないが各施設内で適切に管理している。町民に見てもらえるよう工夫し、展示の場所・方法など各施設の管理者と相談しながらやっていく。

*その他「文化の香り高い東郷町へ」の提案に対し、町長は昭和60年に制定された町民憲章の趣旨に沿い実現を目



東郷中学校区の標語とポスターの集

老いてもなお安心して暮らすまち

星野 靖江 議員



【問】町内介護施設の動向と現況は。

【福祉部長】第5期高齢者保健福祉計画にて策定。現在は北山地区に住宅型有料老人ホーム建設中である。

【問】その事業内容は。

【福祉部長】定員95名。通所介護や訪問介護、居宅介護支援等、事業所を併設により入居者に沿った介護サービスを提供。23年4月開所予定である。

【問】高齢者見守りネットフックの現況は。

【福祉部長】行政と民生委員が連携協力し高齢者安否訪問を実施している。

【問】高齢者所在・安否確認の実態把握は。

【福祉部長】高齢者慰問時に確認。100歳以上4名は職員が安否確認した。

肺炎球菌やヒブ接種 補助の拡大は

【問】接種費用補助は。

【健康部長】今後の重要課題と考慮し検討する。

【問】病後児保育の自宅訪

問型サービス実施は。

【福祉部長】23年度に診療所に病後児保育施設。その後の施策として検討を図る。

人に優しい道路整備を

【問】高齢者や障がい者の移動手段「ハンドルタイプ電動車椅子」の交通安全対策実践講座は。

【福祉部長】福祉用具貸与利用はまだ少ない。今後は取扱業者や警察署と相談し検討したい。

【問】人に優しい道路整備計画は。

【経済建設部長】県は歩行者中心の安全対策調査を愛厚ホームと春木クリニック周辺をあんしん歩行エリアに発注した。



子どもの歩行も安全に（愛厚ホーム前）